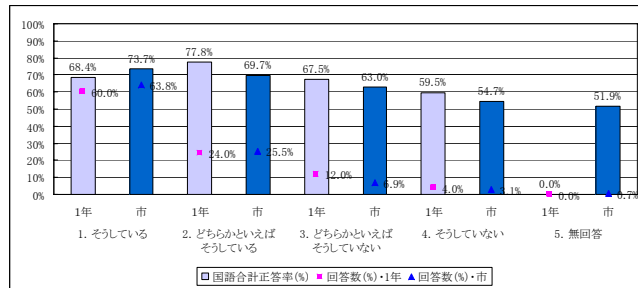


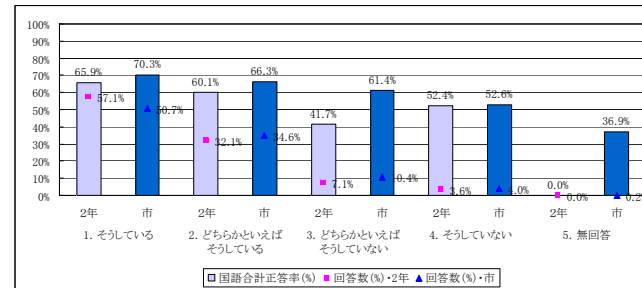
# 平成19年度横浜市学習状況調査について

「新しい漢字の読み方や書き方を身につけるように努力をしていますか。」

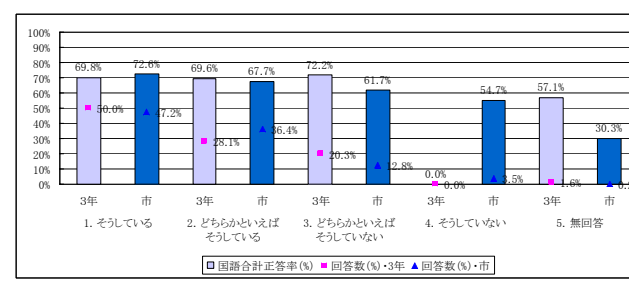
1年 (現2年)



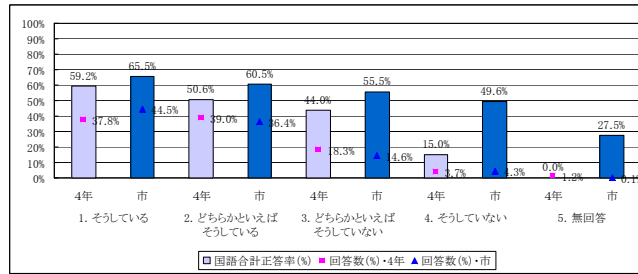
2年 (現3年)



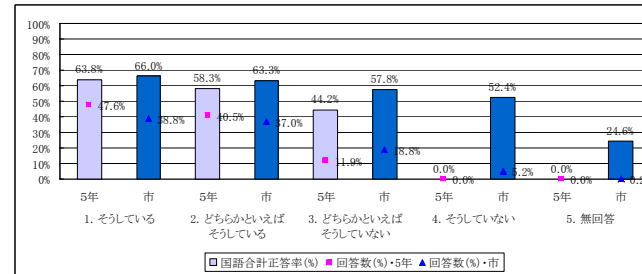
3年 (現4年)



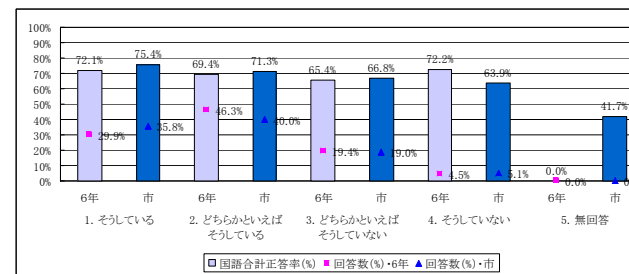
4年 (現5年)



5年 (現6年)

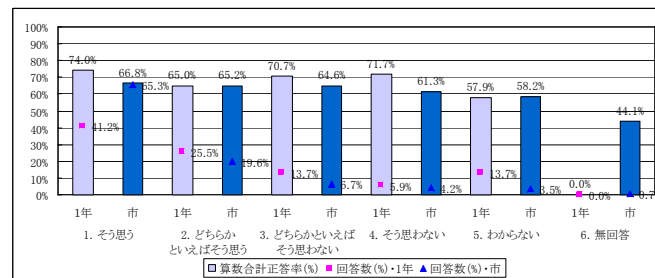


6年 (現中1年)

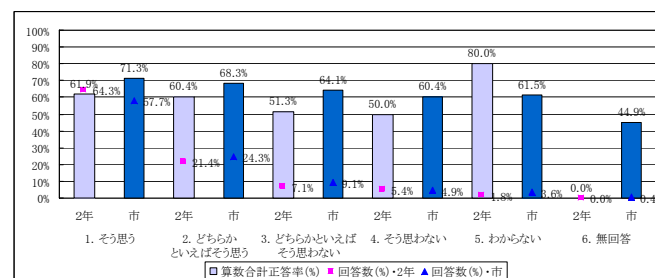


「算数の勉強が好き」

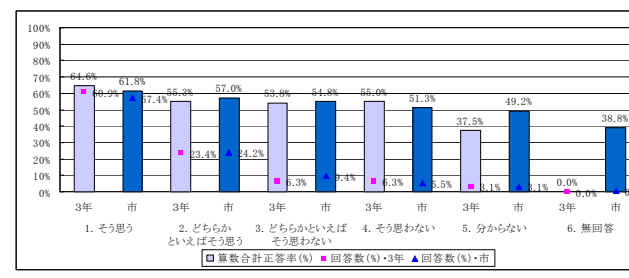
1年 (現2年)



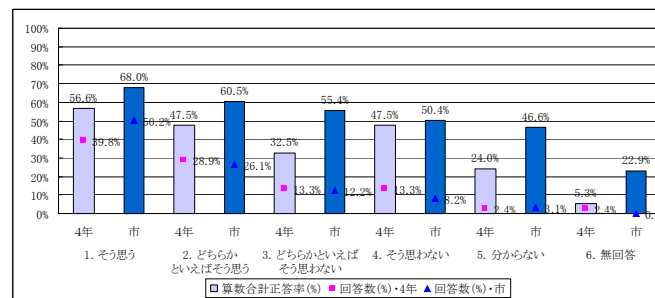
2年 (現3年)



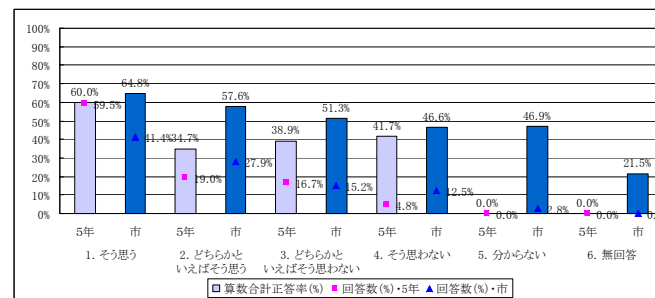
3年 (現4年)



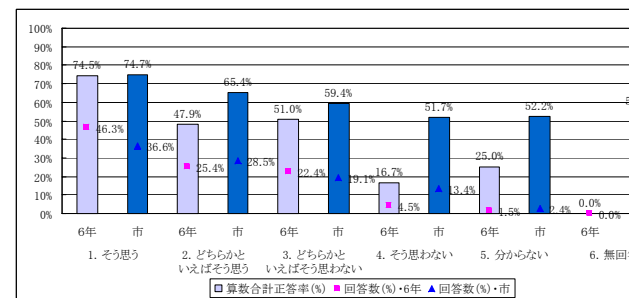
4年 (現5年)



5年 (現6年)



6年 (現中1年)



## 調査の目的

- ①横浜市教育委員会においては市立小中学校児童生徒の学習状況について分析的・総合的に把握し、教育施策に活用するとともに、児童生徒の学力向上などに生かす。
- ②各学校においては、自校の一人ひとりの学習状況をとらえ、教科指導や教育評価の改善及び個に応じた指導の充実などに生かす。
- ③児童生徒においては、学力向上のために自らの学習状況をとらえ、学習の改善などに生かす。

平成20年2月14・15日、全市一斉学習状況調査が行われました。1・2年生は国語・算数の2教科、3年以上は理科・社会を加えて4教科での実施でした。各個人の結果につきましてはすでにお渡ししてあります。

調査内容には多くの項目がありましたが、今回は、学習状況と生活・学習意識のクロス集計結果から、左記の内容2点につきまして学校全体の様子と今後の取組について説明いたします。

- ①「新しい漢字の読み方や書き方を身につけるように」している子は正答率が高くなっています。
  - ②「算数の勉強が好き」は顕著な結果は見られませんでした。が、「好き」と答えた子の正答率は高くなっています。
- どの学年においても、まじめに・集中して授業を進めている学級の正答率は高くなっています。授業中と休み時間の区別をつけ、「しっかり教え・しっかり学ぶ」学級にすることが大切です。
- まず、やる気・根気を育て、どの子にも基礎学力をつけます。「授業が楽しい・勉強がわかって楽しい」と思える子どもにしたいと考えています。

下瀬谷小学校漢字（読み）検定試験実施  
下瀬谷小学校算数（計算）検定試験実施

- ①学習の習慣化
  - ②わかる楽しさ
  - ③基礎学力の定着
  - ④ほめられることの心地よさ
- を、まず「読み・書き・そろばん（計算）」で実施していきます。そして21年2月の状況調査で学習の成果が見られることを期待しています。